View metadata, citation and similar papers at core.ac.uk
brought to you by CORE
provided by Kwansei Gakuin University Repository

特　集

スポーツの力

関西学院大学人間福祉学部人間科学科　溝畑　潤

今年 2012 年はオリンピックイヤーである．7 月 27 日から 17 日間，英国ロンドンで開催された夏季オリンピックにおいて，日本は前回大会の北京オリンピックを上回る 38 個のメダルを獲得した．各競技団体はメダル獲得のために選手の競技力向上を図り，最先端の医学及び科学技術を駆使し今大会に臨んだ．その結果，選手たちはオリンピックの舞台で最高のパフォーマンスを発揮することができたと考えられる．それは，選手がインタビューの中でスタッフへの感謝を述べていたことからも，裏方として活躍される関係者の多大なる努力が窺えた．

ところで，今大会は出場した選手たちにとって前大会とは異なった思いで大会に挑まれていたはずである．昨年３月 11 日に東北地方を襲った未曾有の大災害．発災から１年以上を経過してもなお，その傷痕は癒ない．そのような状況下で，被災地を中心とするすべての国民に，夢や感動，明日を生きる自信を取り戻すことにつながる復興支援に，選手たちのメダル獲得への意欲は想像以上であったに違いない．震災直後からスポーツ界も主体的，積極的に被災地へ支援を継続している．それらの多様な取り組みの様子は新聞，テレビ，インターネット等，諸種のメディアを通して多数報じられている．スポーツ界の様々な取り組みを通して，人々に伝えられているスポーツの有する顕在的，潜在的な価値（スポーツの力）とは一体何であろうか．スポーツ基本法が制定され，我が国のスポーツ推進の在り様に変化の兆しがみられる今日，改めて，スポーツの力について問い直していこうとするものである．

今回の企画により投稿していただいた先生方からは，スポーツを文化として捉える意味合いから「スポーツの力」について，それぞれ研究の専門分野から執筆していただいた．

中西純司氏は，「文化としてのスポーツの価値」について，スポーツの有する潜在的・顕在的な価値が，社会にどのような変化をもたらしているか，また，社会を変化させる原動力となる文化としてのスポーツの価値とは何かを国及び地方公共団体におけるスポーツ政策に関する内容分析を行うことによって，スポーツの文化性とスポーツの価値について探求されている．

藤本淳也氏は，「人を動かすスポーツ」について，スポーツとビジネスの距離が狭まり，世界規模でスポーツの価値と人々の満足や金銭の交換が行われている今日，スポーツ消費者の概念とスポーツファンの行動的・心理的特性を示し，チーム・アイデンティティの形成過程や集団社会のアイデンティティとの関係から，「スポーツファン」の特性について探求されている．

長岡雅美氏は，「社会を育てるスポーツの力」について，スポーツを日常的な生活を繰り広げる生活者の視点から，高齢者のスポーツについて老人

社会福祉センターでの事例を取り上げ，スポーツからどのような恩恵を受けるのか，また身体的な効果を超えた心理的，社会的効果やスポーツが暮らしや地域の活力になることについて述べられている．

松田雅彦氏は，「新しい公共とスポーツ」について，スポーツ基本法を踏まえ，スポーツ振興基本計画の改定に向け作業が進められる中，地域住民が世代や種目，楽しみとしての「総合型地域スポーツクラブ・システム」の導入が，地域住民のスポーツライフを豊かにするとともに，結果として地域コミュニティの生成へとつながることに関して，先行する事例を踏まえ述べられている．

オリンピックが「平和の祭典」と謳われているように，スポーツを介して全世界の人々が戦争のないより豊かで生きがいのある 21 世紀であって欲しいと心より願っている．